

顕著な少雨時における火の取扱いへの注意喚起について

気象庁

顕著な少雨が観測された場合は、臨時の記者会見や気象庁ウェブサイト等により、火の取扱いへの注意喚起を新たに実施する。

降水量の状況

期間降水量（平年比）の分布

降水量平年比(%)
2025年冬(2024年12月~2月)



多
少

170
140
120
100
80
60
40

23 93 150
83 62 59 74 67
148
小笠原諸島

降水量の状況を日々監視。
顕著な少雨※が観測され
た場合は、臨時の記者会
見を開催

○ 臨時の記者会見を開催し、火の取扱いに注意喚起

○○地方では、過去の記録を更新するような顕著な少雨となっています。**顕著な少雨となった地域では、過去大規模な林野火災が多く発生しています。火の取扱いに十分注意してください。**



○ その他、気象情報、気象庁ウェブサイト、SNSなど様々な手段を活用して呼びかけを実施

<気象情報の例>
令和×年×月×日 ○○管区気象台
発表

○○地方太平洋側を中心に、これまで顕著な少雨となっており、向こう1か月も降水量が少ない見込み。
顕著な少雨となった地域では、過去大規模な林野火災が多く発生しているため、火の取扱いに注意。



※顕著な少雨の目安は、平年と比較した降水量の状況を用いることを検討。